

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成21年度第4回水道運営委員会
開 催 日 時	平成22年2月19日（金）午後1時30分から午後2時40分まで
開 催 場 所	水道課別棟会議室
出席委員(者)氏名	番場鉄康（会長）、宮崎利彦（副会長）、山崎勝他、 沖敬子、立澤利夫、
欠席委員(者)氏名	中村光一、小野寺よし子、宮田裕子
担当課職員職氏名	水道課長 萩原澄、課長補佐 石綿昭、 庶務係長 芳澤誠、料金係長 山崎孝男、施設係長 白井正、 主任 大滝利和、主任 浅子千尋
会議次第と会議の公開又は非公開の別	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱書の交付 3 新任委員あいさつ 4 委員自己紹介 5 事務局職員紹介 6 会長あいさつ <p>(1) 平成21年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号）（案）について</p> <p>(2) 平成22年度吉川市水道事業会計予算（案）について</p> <p>(3) その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 閉会 <p>以上、すべて公開</p>
非公開の理由（会議を非公開にした場合）	
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成21年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号） 2 平成21年度水道事業会計補正予算（第3号）（案）概要 3 平成22年度吉川市水道事業会計予算 4 平成22年度水道事業会計予算（案）概要 5 平成22年度（当初）委託予定箇所図 6 平成22年度（当初）工事予定箇所図 7 平成22年度吉川市水道事業水質検査計画（案）

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	沖敬子委員、立澤利夫委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

課長補佐	1 開会
水道課長	2 委嘱書の交付 平成22年2月5日より遠藤委員に変わり山崎勝他委員が議員選出委員となる。
山崎委員	3 新任委員あいさつ
	4 委員自己紹介
	5 事務局職員紹介
会長	6 会長あいさつ
課長補佐	委員出席状況を報告 会議成立を報告 配布資料の確認 議事の進行を会長へ交代
会長	会議録の署名委員を沖委員と立澤委員に指名 会議の公開を報告 傍聴者の確認を事務局へ依頼
課長補佐	傍聴者がいないことを報告
	7 議事
会長	(1) 平成21年度吉川市水道事業会計補正予算(第3号)(案)について 補正予算について、事務局から説明させますが、説明が終わりましてから質問等を行います。
水道課長	平成21年度吉川市水道事業会計補正予算(第3号)を概要説明
会長	平成21年度吉川市水道事業会計補正予算(第3号)について、質問があればお願いします。
山崎委員	駅南地区内の整備工事の遅れから予算減額するとのことですが、現在、残存している工事は全体の何パーセントくらいなのか。
施設係長	平成21年度見込みで、事業費ベース82%、延長95%の完了となりますが、これらが平成22年度に持ちこしとなるため、数値は平成22年度末のものとなります。

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
会長	ほかに何かありますか。 無いようなので次に進みます
	(2) 平成22年度吉川市水道事業会計予算(案)について
会長	補正予算について、事務局から説明させますが、説明が終わりましてから質問等を行います。
水道課長	平成22年度吉川市水道事業会計予算を概要説明
会長	平成22年度吉川市水道事業会計予算について、質問があればお願いします。
副会長	企業債とありますが、具体的に借入機関、金額、利息、返済期間等を教えてください。
庶務係長	財務省と地方公共団体機構から一定の割合で借り入れます。金額は来年度4億3,100万円です。利息は2.0%で試算をした場合1億6,200万円です。元金と合計して5億9,300万円になります。返済期間は5年据え置き30年になります。
副会長	来年度の石綿管布設替事業の費用が今年度にくらべて高いのはなぜですか。
施設係長	来年度の石綿管布設替事業は、延長5km、事業費3億7,956万6千円を予定しています。工事延長は今年度とそれほど変わらないのですが、工事個所の現況、たとえば県道部分などでは工事費が高額になります。それが原因と言えるでしょう。
水道課長	石綿管更新事業について補足説明をします。現在、吉川市では平成30年度までの更新完了を目指し事業をおこなっています。その際に企業債を活用しますが、これは債務負担の分散化を図り、安定した水道運営をおこなうためのものであります。また、施設更新計画についても企業債を活用しますが同様の意図があることをご理解ください。
山崎委員	供給単価が平成21年度169円に対して、平成22年度168円と1円さがっているのはなぜですか。
料金係長	供給単価とは調定額を有収水量で割ったものなので、調定額にあまり変化がなく、有収水量が増えている現状では年々低下していく傾向にあります。
水道課長	補足説明をします。来年度は職員数が1名増加になることもひとつの原因としてあげられます。また、この金額はあえてこちらで設定しているものではなく、結果的に算出されたものであります。

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

山崎委員	今現在の逆ざやは何円ですか。
庶務係長	平成20年度決算で16円21銭になります。
山崎委員	今後は逆ざやを解消していかなければならないでしょう。
水道課長	水道料金を見ますと確かに逆ざやではありますが、収益ではここ数年間、黒字を保っています。原因としては吉川市の人口増加にともない分担金の収益が相当あることがあげられます。この分担金の収益のうち3/4を水道収益とみなすため、3条予算において黒字経営が成り立っているといえます。このように黒字経営が続いている状況において、逆ざや解消のために水道料金の値上げ改定を行うのは市民の方々の理解を得ることは困難に思われます。したがって、黒字経営が継続しているうちは逆ざや解消の料金値上げ改定は行わない方針です。
副会長	収益の3/4を3条に経常していますよね。本来ならば全額4条に経常すべきではないのですか。そうすれば企業債も発行せずに済むのではないのでしょうか。
水道課長	確かに現状では分担金の3/4を3条に経常しています。100%4条に経常した場合、企業債の発行を抑えることができる可能性もあります。このような経常方法をとった詳しい経緯については分かりませんが、必ずしも分担金をすべて4条に経常しなくてはいけないわけではありません。市町村によってまちまちのようです。理想としてはすべてを4条に経常することですが、水道料金や3条との兼ね合いを考えると、今すぐにそのような措置をとることは非常に抵抗があると言えるでしょう。
山崎委員	石綿管布設替工事の進捗状況はどの程度なのですか。
施設係長	市街化調整区域におきましては、平成22年度設計、平成23年度施工でおおむね完了します。おおむねというのは工業団地の拡張事業や江戸川河川改修工事など一部の特殊な現場を除き完了するということです。 市街化区域においては総延長39kmの布設替えを予定しております。
会長	ほかに何かありますか。 (質問なし) 無ければ次へ移ります。
	(3) その他について
施設係長	事務局から説明させますが、説明が終わりましてから質問等を行います。
会長	平成22年度水質検査計画を概要説明 質問があればよろしくお願いします。

山崎委員	「カドミウム及びその化合物」の基準値が強化されたということですが、なぜですか。
施設係長	厚生労働省が人体への影響をかんがみて強化されたものと思います。
山崎委員	臨時の水質検査に関する変更後の事例とは具体的にどうゆうものですか。
施設係長	基本的な9項目の水質検査以外にも、必要に応じて検査をするというものです。お客さまからの赤水等の苦情にも対応します。今年度も実例で数件ありました。
会長	何か質問等ありますか。 (発言なし) 無ければ本日の議題を終了します。 会議の進行を事務局に交代
課長補佐	閉会のあいさつを副会長にお願いします。
副会長	副会長あいさつ 以上で終了、散会

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成22年 2月24日

署名委員 立澤利夫 (自署) 署名委員 沖敬子 (自署)